



日本家族看護学会第26回学術集会開催 2019年9月14日・15日 於：京都テルサ



「日本家族看護学会第26回学術集会」報告とお礼

第26回学術集会 会長 河原宣子

「心をつなぐ」というメインテーマで、2019年9月14日（土）・15日（日）に京都テルサで開催した日本家族看護学会第26回学術集会では、多くの方々に多大なご尽力を賜りました。誠にありがとうございました。

会期中は、951名のご参加をいただき、特別講演、教育講演、シンポジウム、前原澄子博士メモリアル企画、一般演題、委員会企画、交流集会、学生発表企画、ランチョンセミナー等のプログラムを運営ボランティアを始めとした皆様にも助けられ、何とか無事に終了できました。

ここで、参加協力してくれたボランティア学生の感想を少しご紹介します。

『最新の情報を共有しあい、互いに刺激を得るための最適な場であると感じました。また、参加するまでは格式の高い場であると思いましたが、看護に興味・関心のある誰もが参加しやすい雰囲気のある場であるという、とても良い印象を受けました。家族看護の発展を目指してたくさんの方々がいろんな方向で協力していることを感じる事ができました。』『会場誘導をしている際、参加者の方々が「家族看護って面白いな!」と話しておられるのを聞きました!とても嬉しかったです。』

未来の家族看護学を担う後輩たちの言葉に力づけられ、日本家族看護学会がますます発展するよう今後とも力を尽くしたいと存じます。

言葉では語り尽くせぬ感謝を込めて。



書：尾西 正成
(京都橘大学 文学部 日本語日本文学科書道コース)

思いをつなぐー前原澄子博士メモリアルについて



日本家族看護学会元理事長 鈴木和子

日本家族看護学会第26回学術集会の初日に「思いをつなぐー前原澄子博士メモリアル」が河原宣子学術集会長により急遽企画され、本学会の理事長経験者の石垣和子先生と鈴木和子の二人で追悼の辞を述べる機会を得た。

故前原澄子先生は、本学会の設立当時から理事、監事を歴任され、設立当時から多大なバックアップをいただき、本学会の「育ての親的な存在」であったという思いをつなぐ機会になった。また、2011年に京都で行われた第10回国際家族看護学会の開催に当たって東日本大震災の直後の開催に迷っていた理事会メンバーに一声「こういうときこそ、やりましよう」と言っていたいただいた思い出などを披露することができた。このように、学会にとって余りにも大きな存在を失った深い悲しみと多くの思い出を学会員の皆様と共有し、前原先生の遺影に向かって、本学会が家族看護学の原点を忘れず、さらに発展できるよう誓い合う場になったことと信じます。

交流集会「ロールプレイで学ぶ家族ケア-透析を辞めたいと訴える慢性腎不全の母親と意見の異なる娘たちとの家族面接」に参加して

東北家族ケア研究会 河田眞理子

東北家族ケア研究会は家族ケアの向上を目指し、知識・技術の研鑽の場として2018年に福島県で発足しました。月1回の研修会では、家族ケアの理解を深めると共に実践力を身につけることを目標に事例のアセスメントを行い、その事例に実際に関ってみる（ロールプレイ）を行っています。

第26回日本家族看護学会交流集会において、多くの皆様の前でロールプレイを行い、様々な専門領域の方々や学生から多様なご意見を頂戴致しました。看護師の感じた困難事例をロールプレイすることで、患者・家族それぞれの思いを客観的に読み解き、看護師の関り方の癖や効果的な対応方法など具体的に理解できます。

今後も様々な困難感を抱いた実践事例に対して事例検討・ロールプレイなどの取り組みを継続していきたいと考えています。



研究奨励賞を受賞して

東京医科大学 医学部看護学科 鈴木征吾

本研究は、心停止蘇生後であった新生児の治療に関する両親の意思決定を支える家族支援をまとめた事例研究です。本事例では、両親間で治療に関する意向が一致していなかったものの、父母が互いの考えに共通点を見出すことができるように意識して看護支援を行うことで、最終的に家族として納得された形で意思決定が行われました。この事例研究をまとめる動機付けは、当時参考に行ける先行研究を見つけられず、迷い悩みながら向き合った経験を、その場にいた看護チームだけのもの終わらせたくないという思いでした。今後も一つ一つの事例に向き合い、臨床場面での思考過程を他の看護職と共有できるように研究を積み重ねていきたいと考えています。

鈴木征吾, 大城怜, 小林明日香, 上別府圭子. 生命の危機にある新生児の治療選択に関する両親の意思決定を支える看護実践. 家族看護学研究. 2019 Feb; 24(2): 185-196.

ご案内 日本家族看護学会第27回学術集会

テーマ：未来をひらく
学術集会長：浅野みどり
(名古屋大学医学系研究科 総合保健学専攻
次世代育成看護学)
会期：2020年9月12日(土) / 13日(日)
会場：ウインクあいち(愛知県名古屋市)
演題募集期間：3/10(火) 正午～5/12(火) 正午

詳しくは学会ホームページをご覧ください。
<http://www.cs-oto.com/jarfn27/index.html>

<編集後記>

News Letter 15号を企画した時には、3月現在の世界や日本がCOVID-19でこれほど大きな影響を受けるとは想像していなかった。この新たな疫病は今後、家族支援や家族看護学にも影響を及ぼすものになると想像できます。新理事会体制になってから初めてのNews Letterで、第26回学術集会のポイントをお伝えできたと思います。
(担当委員：根岸茂登美 委員長：荒木田美香子)